

# <救命処置の流れ 心肺蘇生法・AED使用要領>

**周囲の安全確認** ※倒れている人に近づく前に周囲を見渡し、安全かどうか確認します。

「大丈夫ですか？」



①反応なし

②大声で応援を呼ぶ  
119番通報とAEDを依頼する



「あなたは119番通報してください!!」  
「あなたはAEDを持ってきてください!!」

③呼吸の確認

呼吸あり

- 気道の確保
- 救急車到着まで待つ
- 回復体位の実施



回復体位

★呼吸なし

★ポイント

次のような呼吸が見られるときは『普段どおりの呼吸がない』と判断します。

- 胸やお腹の動きがない場合
- 約10秒間確認しても状態がよくわからない場合
- しゃくりあげるような、途切れ途切れに起こる呼吸が見られる場合

④胸骨圧迫

肘を曲げず、胸の真ん中を垂直に押してください。強く、速く、絶え間なく!



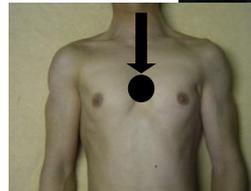
- 胸骨圧迫部位の目安は胸の真ん中  
(1歳未満の赤ちゃんの場合は、両乳頭を結ぶ線のやや足側)
- 強く(大人は少なくとも5cm以上、子供(7歳未満)は胸の厚さ1/3以上)
- 速く(少なくとも1分間に100回以上のペースで)
- 絶え間なく(中断は最小限に)
- 胸を押ししたら元の高さまでしっかり戻す。

⑤人工呼吸

- 人工呼吸が出来ないか、ためられる場合は胸骨圧迫のみ行う。

⑥心肺蘇生

- 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を救急隊が到着するまで交互に繰り返す。



両手の指を互いに組むと、より力が集中できます。

子供(7歳未満)の場合

- 小児用モードで使用
- 小児用の電極パッドを使用(ない場合は成人用で代用)



※キーをここへ差し込むと小児モードになる。

⑦AEDの到着

- 電源を入れAEDの指示に従って操作する。
- 電極パッドを胸部に張り付ける。



⑧AEDによる心電図の解析  
電気ショックが必要か否かAEDが判断し知らせます。

繰り返す

必要あり

必要なし

繰り返す

⑨電気ショックの実施(1回)

⑩その後、ただちに心肺蘇生(胸骨圧迫30回:人工呼吸2回)を再開し、AEDの指示があるまで繰り返す。

⑨ただちに心肺蘇生(胸骨圧迫30回:人工呼吸2回)を再開し、AEDの指示があるまで繰り返す。